

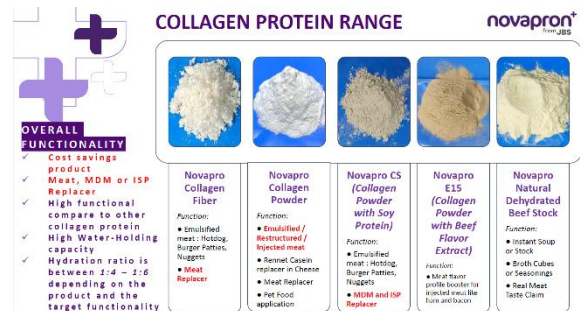
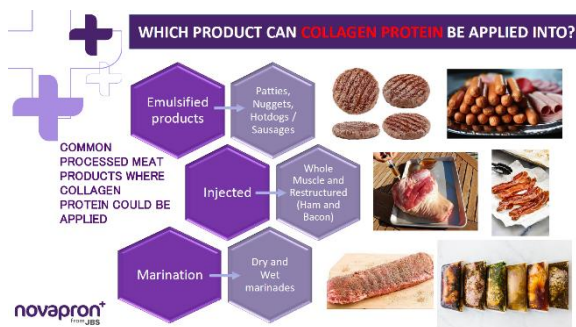
J Sights Corporation

ブラジル Novapron 社製 Beef Collagen のご紹介

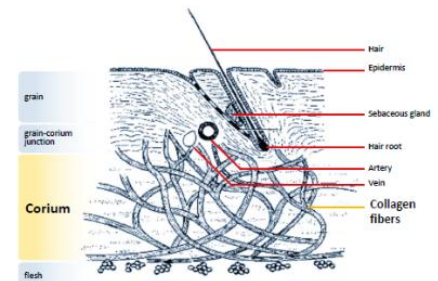
2025 年 10 月 10 日

J サイト株式会社 齋藤 政人

9月29日(月)～10月3日(金)まで、ブラジルNovapron社の
Technical Sales Managerが来日し、弊社のお客様を訪問しま
した。以下、同社製品を簡単にご紹介します。



■ 同社はブラジルJBS社のグループ企業でビーフコラーゲンに特化して生産しています。原料は牛皮のみで、牛は豚・鶏と比較してタンパク含有率が高いこと、牛皮の真皮層(Corium)がコラーゲン含有比率が一番高いことから、高い品質の製品を安定的に生産することができます。



■ 製造工程も大変シンプルで、加熱工程とその後の粉砕(Mill)工程のみとなっており、酸化防止剤等の添加物も一切使用していません。賞味期限は生産から2年(冷暗所保管)です。



■ 日本に紹介する製品は5種類ありますが、その中でも特にFiber / Powder / CSの3品目に注力していきたいとのメッセージです。Fiberは主にソーセージ等、Powderはハム等のインジェクション用、CSは大豆たんぱくとミックスしてあります。

Characteristics

	Novapro® Fiber	Novapro® Powder
Size	> 250 µm	< 150 µm
Hydration ratio capacity*	1:1	1:10
Injectable	No	Yes
Protein Level	min. 98%	min. 98%

無断転載禁止

J Sights Corporation

■ 畜産品のみならず、乳製品(代替チーズ等)やペットフーズへの展開も考えられるとの説明でした。

■ ビーフコラーゲンは使用用途がビーフ製品に限られることが想定され、市場範囲は限られているかもしれません。一方、ビーフコラーゲンは豚・鶏のコラーゲンに比較して強度がある、たんぱく含有率が高い等の特徴があり、特徴を理解した使用方法はあるかもしれないと感じています。



(追記)

海外の鶏卵・鶏卵加工品に関する情報も入手できたので、あわせて掲載します。

【EU】

- ・採卵鶏羽数はEU委員会によって管理規制されている為、増羽が進まず依然として鶏卵生産量は増えていません。
- ・鶏卵価格は依然として高値が続いていますが、ピーク時の3月中旬から下旬に比べて20%程度安くなっています。(過去10年の平均相場に比べると2倍以上になっています)
- ・7月に続き9月18日にスペインで100万羽単位のAI(鳥インフルエンザ)による殺処分が行われたことにより今後のEU内におけるAI発生の可能性が心配されることやスペインでの殺処分の市場における影響等により鶏卵及び鶏卵加工品の価格が上昇することが予想されます。
- ・主要鶏卵供給国のポーランドで発生したAIによる大量殺処分によりトルコやウクライナからの殻付き卵の輸入が増加しています。これはあくまでも加工用殻付き卵ですが、ウクライナ品はしばしば動物医薬品や残留農薬などの問題でリコールが起きています。
- ・現地としては卵白は非常に安い水準ですが、為替の関係(円安ユーロ高)で輸入品としてのコストは下がりづらい状況です。

【米国】

- ・大手鶏卵業者による増羽の動きは強いですが、米国全体としては大きな羽数増は見られない状況です。
- ・今後、AI発生シーズンに向かいますが米国に限らず世界中でAI対策のワクチンを使うことが議論されています。AEB(American Egg Board/アメリカ鶏卵委員会)でもワクチン使用に踏み切るべきだとの意見が主流を占めてきておりEUや日本も含め今後の動きに注視する必要があります。
- ・元来鶏卵生産価格の6割以上を占める飼料価格が世界でも最も安い米国中西部は鶏卵生産に最も適した地域の代表でした。採卵鶏に与えられる一般的な配合飼料の9割以上がトウモロコシと大豆ミールです。米国中西部は一面トウモロコシと大豆畑です。その優位な立場から粉卵、特に全卵粉末と卵黄粉末の主要輸入先は米国でしたが2015年以降しばしば発生する大規模AIの為にその立場が危うくなっています。

J Sights Corporation

【その他】

- ・中国の養鶏業は大規模化が急激に進んでおり、またAI対策のワクチンの使用が行われていることから数少ないAI未発生国となっています。
- ・インドは殻付き卵の価格が上がり続けていますが、EUや米国に比べて未だ安く製品価格も安い水準にあります。新たに割卵機や乾燥機を購入し粉卵生産を開始した養鶏場も増えていますが未だ品質的に不安定な状況です。
- ・アルゼンチンは養鶏場の省力化が遅れていましたがEUの企業を中心に省力化が進められています。また、一般消費者向けのパック卵の包材や自動包装機の導入も進んでいます。

今回ご紹介しているサプライヤーの製品をはじめ、たんぱく商材を数多く取り扱っております。
ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

[お問い合わせフォーム](#)